

第2回 QIIシンポジウム

【主催】量子イノベーションイニシアティブ協議会

【日時】2025年5月16日(金) 13:30~17:40

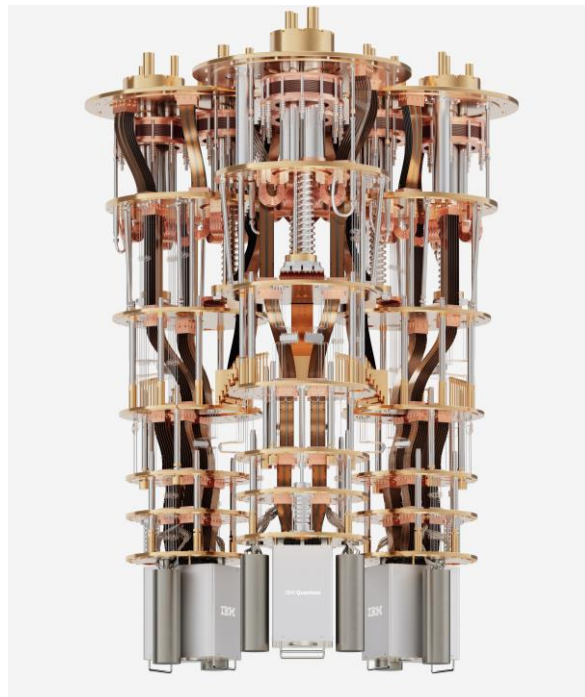
【場所】東京大学本郷キャンパス 山上会館2階大会議室

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

※シンポジウム後(17:50~19:00)に山上会館1階談話ホールにて懇談会も実施いたします

量子イノベーションイニシアティブ協議会(QII協議会)は、日本が量子コンピューターの社会実装を世界に先駆けて実現するため、当該技術に関わる産学官の協力を促進し、相互の情報交換を密にすることで、我が国全体のレベルアップと実現の加速を図り、広く産業に貢献することを目的として2020年に設立されました。

2021年7月から、日本初のゲート型商用量子コンピューティング・システム IBM Quantum System One (27量子ビット)を新川崎・創造のもり かわさき新産業創造センターにてQII協議会会員の皆様の専有機として稼働し、2023年10月には北米以外では初となる127量子ビットにアップグレードしました。この度、さらなる計算能力をご提供すべく2025年9月に最新のHeronプロセッサにパワーアップいたします。また、ハードウェア・テストセンター「The University of Tokyo - IBM Quantum Hardware Test Center」(QHTC)を東京大学 浅野キャンパス内にて2021年6月に開設し、将来の量子コンピューター技術の研究・開発を進めております。



当シンポジウムにて、参加メンバーによる研究紹介や産学のトップマネジメントによる基調講演、量子中心スーパーコンピューター時代に向けた利活用やAI関連に関する議論を通じて、「産業化を見据えた量子コンピューターの局面」全般を体現いただけますと、幸甚に存じます。ご多忙の折とは存じますが、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

参加申込フォーム 《5月12日(月) 締切》

<https://forms.office.com/r/HnPr8kbQwM>

- ✓ 申込期限前であっても、定員に達し次第、先着順で締め切らせていただきます。
- ✓ シンポジウムは参加費無料、懇談会は会費制(3,000円)とさせていただきます。
- ✓ 懇談会について、参加申込後にご参加が難しくなった場合には下記お問い合わせ先までメールにてご連絡願います。

QII協議会会員(2025年3月現在)：

東京大学、慶應義塾大学、JSR株式会社、ソニーグループ株式会社、ソフトバンク株式会社、DIC株式会社、株式会社東芝、TOPPANデジタル株式会社、トヨタ自動車株式会社、日本アイ・ピー・エム株式会社、株式会社日立製作所、株式会社みずほフィナンシャルグループ、三井住友信託銀行株式会社、三菱ケミカル株式会社、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ、理化学研究所、味の素株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社村田製作所、横河電機株式会社、株式会社レゾナック、東京農工大学

イベント内容は事前の通知なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ：

量子イノベーションイニシアティブ協議会事務局(東京大学産学協創部協創課)

E-mail: itl.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

13:30-13:40	開会の挨拶 小柴 満信（量子イノベーションイニシアティブ協議会 会長／東京大学 総長室アドバイザー）
13:40-13:50	来賓の挨拶 武田 伸二郎（経済産業省 イノベーション・環境局 イノベーション政策課長） 田淵 敬一（文部科学省 研究振興局 基礎・基盤研究課 量子研究推進室長）
基調講演	
13:50-14:40	講演 1：「量子から創発するイノベーション」 藤井 輝夫（東京大学 総長）
	講演 2：「日本の再興に向けた次世代計算基盤戦略」 五神 真（理化学研究所 理事長）
	講演 3：「日本の量子技術イノベーション政策」 伊藤 公平（慶應義塾大学 塾長）
	講演 4：「量子産業化に向けたグローバルエコシステムの構築」 益 一哉（産業技術総合研究所 量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター長）
	講演 5：「The Path to Advantage with Quantum Centric Supercomputing」 Jay Gambetta（Vice President of IBM Quantum and IBM Fellow）（ビデオレター）
14:40-14:55	休憩
研究の紹介	
14:55-15:55	発表 1：「材料計算における量子アプリケーションの開発事例」 高 玓（三菱ケミカル株式会社 Science & Innovation Center Materials Design Laboratory 上席主幹研究員）
	発表 2：「量子CAE:量子コンピュータを活用したモノづくりへ」 佐藤 勇気（株式会社豊田中央研究所 リーディングリサーチャー）
	発表 3：「量子古典ハイブリッドニューラルネットワークモデルの量子化学計算への応用」 西田 靖孝（株式会社東芝 研究開発センター ナノ材料・フロンティア研究所 トランスデューサ技術ラボラトリー 研究主務）
	発表 4：「量子と機械学習」 山本 直樹（慶應義塾大学 理工学部 教授）
	発表 5：「Utility scale 量子計算で探る量子多体系の基底状態と量子ダイナミクス」 柚木 清司（理化学研究所 開拓研究本部 主任研究員）
	発表 6：「Diagonalization of large many-body Hamiltonians on a quantum processor」 吉岡 信行（東京大学 素粒子物理国際研究センター 准教授）
15:55-16:02	量子コンピュータとHPCの統合による量子AI基盤 藤堂 眞治（東京大学 大学院理学系研究科 教授）
16:02-16:10	ハードウェアテストセンターおよび関連する最新の成果 稲田 聡明（東京大学 素粒子物理国際研究センター 助教）
パネルディスカッション	
16:10-17:30	テーマ 1：量子中心スーパーコンピューター(Quantum Centric Supercomputer)時代に向けて、どのように活用していくか？ ファシリテーター 森本 典繁（日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役副社長執行役員 最高技術責任者 兼 研究開発担当） パネリスト(五十音順) 佐藤 三久（理化学研究所 計算科学研究センター 部門長） 鉄川 弘樹（ソニーグループ株式会社 リサーチプラットフォーム 先端研究部 統括部長） 永井 智樹（JSR株式会社 RDテクノロジー・デジタル変革センター マテリアルズ・インフォマティクス推進室 室長） 西本 聡（株式会社みずほフィナンシャルグループ IT・システム統括部 クラウド統括T 次長）
	テーマ 2：量子コンピューターとAI ファシリテーター 井元 信之（東京大学 特命教授） パネリスト(五十音順) 齊藤 英治（東京大学 大学院工学系研究科 教授） 手塚 宙之（ソニーグループ株式会社 リサーチプラットフォーム 先端研究部 リサーチャー） 寺師 弘二（東京大学 素粒子物理国際研究センター 教授） 藤堂 眞治（東京大学 大学院理学系研究科 教授） 山本 直樹（慶應義塾大学 理工学部 教授）
17:30-17:40	閉会の挨拶 相原 博昭（量子イノベーションイニシアティブ協議会 プロジェクトリーダー／東京大学 理事・副学長）
17:50-19:00	懇談会 会費：3,000円、場所：東京大学本郷キャンパス 山上会館1階談話ホール